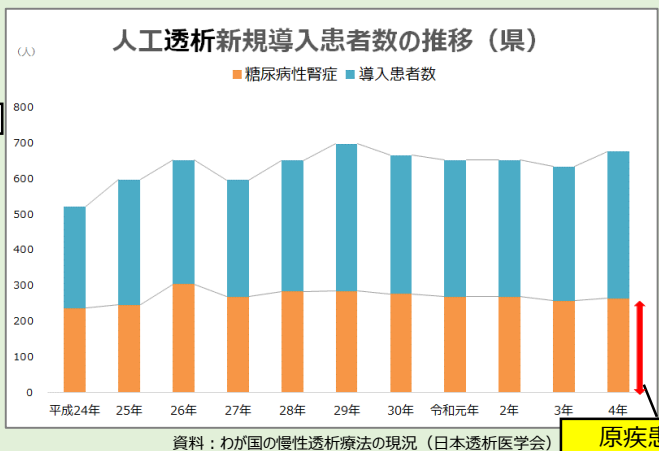
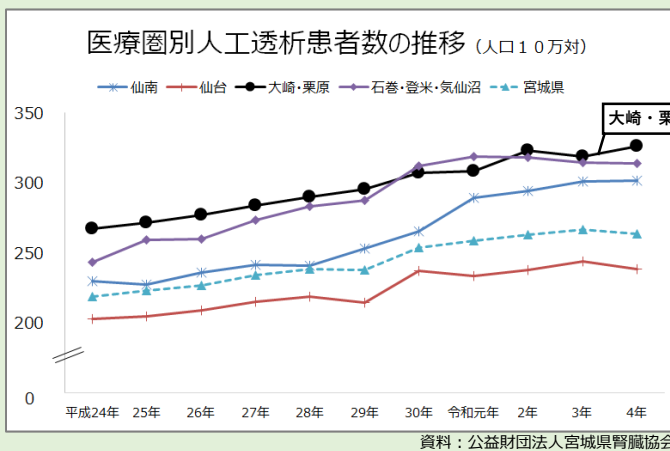


糖尿病性腎症重症化予防リーフレットについて

取り組みの背景

- ▶ 大崎・栗原地域の人工透析患者数は、県内4医療圏の中で最も多い状況です。
- ▶ 新規に人口透析を導入する方の約4割は、糖尿病性腎症の重症化によるものです。
- ▶ 人工透析が必要な状態になると、個人の生活の質が低下するほか、医療経済的にも大きな負担となります。
- ▶ 糖尿病は40歳代で増加し始め、男性では50歳代で急増するため、この年齢層に対しての取り組みが重要です。

人工透析を予防するには、青壮年期からの糖尿病性腎症の重症化予防が効果的



原疾患の約4割は糖尿病性腎症

重症化予防に大切なこと

早期受診

治療継続

糖尿病性腎症とは

糖尿病の合併症の一つで、高血糖が続くことにより腎臓の機能が低下する病気です。

目的は

糖尿病の発症が増加する働き盛り世代を対象に、職場や市町の健康診断を受けた結果、糖尿病性腎症のリスクがある人に**早めに受診の勧奨**を行い、治療につなげ、糖尿病性腎症の重症化を予防し、新たに人工透析を導入する人を減らすために作成したものです。

対象は

- リーフレット記載の**リスクに1つでも該当し**、現在受診していない人です。
- メインの**ターゲットは40代～60代**ですが、その他の年代でかかりつけ医のいない人に活用いただくなど特に制限はありません。

活用方法は

裏面をご覧ください。

糖尿病性腎症重症化予防リーフレット※の活用イメージ ～地域や職場での活用～

※図中では「リーフレット」と表記

糖尿病性腎症リスク

- いずれかひとつでも当てはまる方
- ◆ 空腹時血糖 126mg/dl以上
 - ◆ HbA1c 6.5%以上
 - ◆ 尿蛋白 (±) 以上
 - ◆ eGFR 60ml/分1.73㎡未満

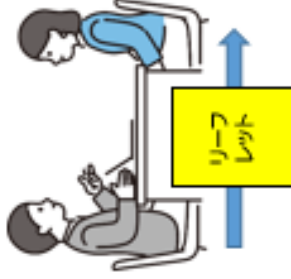
メインターゲット

40～60歳代

対象者を絞って活用

個別指導で配布

※健診結果説明会や特定保健指導、産業医の面談等で配布



リスクがあってかかりつけ医にいない方に

※大崎・栗原地域糖尿病・CKD地域連携協力医療機関を案内



受診勧奨通知に同封

※受診勧奨対象者へ配布



健診結果に同封

※リスクを保有する方に配布



広く周知に活用

健診結果に同封

※対象を絞ることが難しい場合には、全員に配布



アプリやイントラ等で配信・共有

※地域や職場で広く周知



会議・健康教室での説明資料

※取組の必要性について、住民、上司等に説明する際の資料として



ポスターとして掲示

※職場や健診会場、待合室等で掲出

